

平成 28 年度事業計画

1. 理念

ケアハウスオパール八丁平は、入居者、家族、地域の人々との関わりを大切にすることを信条とし、笑顔あふれる温もりのある暮らし、その人らしい尊厳のある暮らし、心ふれ合う充実した暮らし、の実現を目指す。

2. はじめに

平成 27 年 4 月には入居定員 50 名での運営を行っていたが、介護保険制度改正や室蘭近隣地域の施設の増加、当施設が開設して間もないために施設の認知が進んでおらず入居者確保が課題となった。西胆振管内の医療・福祉事業所と情報交換を行うことで入居者の確保や施設紹介を行っているが、今後も入居希望者確保のため当施設の認知度を上げていくことやケアハウスの対象となる要介護者の状態を医療・福祉事業者はもとより地域に住む方々に知っていただく取組みが今後の課題になる。

入居者処遇では適切なサービスの提供を行い施設での生活を豊かに過ごせるよう余暇活動の充実を図り職員間でのサービス提供の統一、連携体制の強化を進めていく。

当施設では未経験者の職員が多く知識技術や意欲の向上を図れるよう経験の少ない職員に対しての研修や教育を行い職員個々の資質向上を図り職員の定着を図る。

施設が持つ人材や施設・設備などの資源を活用し、地域社会との交流を目的として事業所の一部スペースを開放するなど関係部署及び関係士官と協議を行っていく。

3. 入居状況対照表 (3 月 1 日現在)

平成 27 年度		平成 28 年度		待機者	
自立	10	自立	10	自立	3
要支援 1	2	要支援 1	1	要支援 1	0
要支援 2	10	要支援 2	8	要支援 2	0
要介護 1	16	要介護 1	13	要介護 1	1
要介護 2	9	要介護 2	10	要介護 2	1
要介護 3	2	要介護 3	6	要介護 3	1
要介護 4	0	要介護 4	2	要介護 4	0
要介護 5	1	要介護 5	0	要介護 5	0
計	50	計	50	計	6

4. 事業目標

① 観察から状態を把握しサービスの改善や提案を行う

基本の情報を基にして、日々の生活状況を確認し観察する力をつけ、小さな気付きを職員間で共有し早退対応を行う体制を強化する。終の棲家として施設で安心安全な生活を送れるように個々のニーズを深く理解できる関係を確立する。

② レクリエーション等の充実

生活支援サービス以外に日常での楽しみを増やす取り組みを進める。

職員提供のゲームレクや季節での館内の飾付の作成に加え平成27年度より全体行事以外での将棋のボランティア、書道のボランティアの受け入れを行っている。今後も入居者のニーズに対応できるボランティアの受け入れを進めていく。

園芸やお菓子作り等ミニレクを入居者と一緒に準備から作成まで行い充実感を提供していく。

③ 機能訓練の充実

平成26年度の開設より機能訓練の提供は集団での実施を基本としてきたが平成27年度に非常勤の作業療法士を採用し、個別にて対応しなければ歩行が困難な方、または訓練に対しての指示が困難な方に対し個別機能訓練を実施している。今後も身体機能の維持または向上を図り生活の質の確保を図る。

④ 事故要因の軽減（事故対策委員会・感染症対策委員会・拘束検討委員会）

事故対策委員会は3か月毎に委員会を開催する。ヒヤリハット及び事故報告の分析・検討がまだ十分とは言えず今後リスク減少回避できるように強化を図る。また、ユニット単位でも日々の観察意識を強め会議等で起り得るリスクについて検討し対策を図る。

事故発生後は速やかに臨時事故対策委員会を開催し再発防止に努める。

感染症対策委員会・拘束検討委員会は、3か月毎に委員会を開催し、時期に応じた内容や重要とされている事項を議題とし全職員に周知するものとする。平成27年度はインフルエンザ、ノロウイルス等の発症はなかったが、さらに予防対策を徹底する。

⑤ 職員の資質向上

職員の能力向上のため、施設内研修・施設外研修を進め、知識技能の習得向上を目指す。施設外研修に参加した職員は3ヶ月に一度伝達講習を行い、復習と情報の共有化を図る。

介護業務の従事が、当施設が初めてになる職員が半分を占め経験3年未満の職員に対しての研修に力をいれ底上げを図る。

引き続き自己啓発として短期的な目標を実現可能な範囲で掲げ、半年に1度自己評価を行い、面談を実施する。

⑤ 施設の一部スペースを地域に開放

社会福祉法人には、福祉サービスの供給確保の中心的な役割を果たすだけでなく、地域におけるさまざまなニーズにきめ細かく柔軟に対応していくことが求められている。当施設が持つ人材や設備などの資源を活用し、地域住民に対して行う地域貢献活動の普及促進を図ることを目的としてボランティアルームを地域住民や、市内で活動するボランティア団体やサークル団体に活動の場として提供を図っていく。

⑥ 経費削減

平成27年度では光熱費の削減に一定の成果がみられた。本年度もサービスの内容は向上させつつ経費削減を施設全体で取り組む。

⑦ その他

・記録の徹底

提供したサービスや、入居者の状態の変化、希望や要望などについて必ず記録し、職域関係なく全職員が入居者の状態を把握出来るようにする。

・会議の開催

目的を明確にした各種会議を定期的に行う事により、充実した意見交換の場を設ける。また全職員が積極的に意見を述べることができる環境作りに取り組む。

(1) リーダー会議	月1回	(6) 事故対策委員会	3ヶ月毎
(2) フロア会議	月1回	(6) 臨時事故対策委員会	即時
(3) 給食会議	年4回	(6) 感染対策委員会	3ヶ月毎
(4) 担当者会議	随時	(6) 拘束検討委員会	3ヶ月毎
(5) 行事会議	適宜		

5. 職員配置

一般入居者 10名 特定入居者 40名

職種	ケアハウス	特定施設	全体
施設長	1		1
栄養士	1		1
生活相談員		1	1
計画作成担当者		1	1
機能訓練パート		2	2
看護職員		2	2
看護パート職員		2	2
介護職員	1	15	16
介護パート職員		2	2
計	3	25	28

6. 全体行事計画

月	内容	健康管理
4月	消防本部訓練合同 誕生会・にこにこ体操・体重測定・ユニットレク(運動及び取組等)・書道クラブ・将棋クラブ	往診 (月2回)
5月	花見・外食の日 誕生会・にこにこ体操・体重測定・ユニットレク(運動及び取組等)・書道クラブ・将棋クラブ	往診 (月2回)
6月	異世代交流会 誕生会・にこにこ体操・体重測定・ユニットレク(運動及び取組等)・書道クラブ・将棋クラブ	往診 (月2回)
7月	七夕会 誕生会・にこにこ体操・体重測定・ユニットレク(運動及び取組等)・書道クラブ・将棋クラブ	往診 (月2回)
8月	開設記念日 誕生会・にこにこ体操・体重測定・ユニットレク(運動及び取組等)・書道クラブ・将棋クラブ	入居者・職員健康診断 往診 (月2回)
9月	敬老会 誕生会・にこにこ体操・体重測定・ユニットレク(運動及び取組等)・書道クラブ・将棋クラブ	往診 (月2回)
10月	避難訓練 誕生会・にこにこ体操・体重測定・ユニットレク(運動及び取組等)・書道クラブ・将棋クラブ	往診 (月2回)
11月	異世代交流会 誕生会・にこにこ体操・体重測定・ユニットレク(運動及び取組等)・書道クラブ・将棋クラブ	インフルエンザ接種 往診 (月2回)
12月	クリスマス会 誕生会・にこにこ体操・体重測定・ユニットレク(運動及び取組等)・書道クラブ・将棋クラブ	往診 (月2回)
1月	新年会 誕生会・にこにこ体操・体重測定・ユニットレク(運動及び取組等)・書道クラブ・将棋クラブ	夜勤職員健康診断 往診 (月2回)
2月	節分豆まき 誕生会・にこにこ体操・体重測定・ユニットレク(運動及び取組等)・書道クラブ・将棋クラブ	往診 (月2回)
3月	ひな祭り 誕生会・にこにこ体操・体重測定・ユニットレク(運動及び取組等)・書道クラブ・将棋クラブ	往診 (月2回)